

令和6年10月22日（火）

令和6年度第1回福岡県がん対策推進協議会

（4）小児がん拠点病院について

- | | |
|------------------------------|-------|
| ① 第21回九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会報告 | 資料1 |
| ② 第20回小児がん拠点病院連絡協議会報告 | 資料2 |
| ③ 令和6年度小児がん拠点病院事業について | 資料3-① |
| ・講演会、セミナーの開催 | 資料3-② |

九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会

変更は赤字で記載
令和6年8月26日現在

第21回九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会

日時：令和6年8月26日(月) 16:00～17:00

開催方法：WEB会議

I 開会挨拶 (協議会副委員長 九州大学病院 小児外科 田尻達郎)

II 議事

1. 九州・沖縄地域小児がん医療提供体制について

- (1) 委員名簿
- (2) 九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会会則
- (3) 九州・沖縄地域小児がん医療提供体制区

2. 前回議事録の確認

第20回九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会 (令和6年1月5日)

【報告事項】

3. 小児がん拠点病院連絡協議会について

- (1) 第19回小児がん拠点病院連絡協議会報告
- (2) 第20回小児がん拠点病院連絡協議会報告
- (3) 第20回小児がん拠点病院連絡協議会相談支援部会報告

4. 小児がん拠点病院について

令和5年度活動報告

1. 九州・沖縄ブロック小児がん拠点病院テレビ会議
2. 九州・沖縄ブロック小児がん看護ネットワーク会議
3. 九州大学病院 小児緩和ケアチーム活動報告

5. その他

- (1) 令和6年度第1回松本班会議報告

【協議事項】

6. 小児がん連携病院内の指定について

- (1) 小児がん連携病院内の指定要件について

【行政からの報告】

- (1) 佐賀県

III 閉会挨拶 (協議会副委員長 九州大学病院 小児外科 田尻達郎)

【参考資料】

- ・第20回小児がん拠点病院連絡協議会資料

次回開催予定：令和7年2月18日(火)

委員等	担当条項	県	病院名	所属	職名	氏名
委員長	会則第3条1項①号	福岡県	九州大学病院	病院長	病院長	中村 雅史
副委員長	会則第3条1項①号	福岡県	九州大学病院	小児科	教授	大賀 正一
副委員長	会則第3条1項①号	福岡県	九州大学病院	小児外科	教授	田尻 達郎
副委員長	会則第3条1項①号	福岡県	九州大学病院	病理診断科・病理部	教授	小田 義直
副委員長	会則第3条1項①号	福岡県	九州大学病院	がんセンター長	教授	馬場 英司
委員	会則第3条1項②号	福岡県	九州がんセンター	小児・思春期腫瘍科	医長	中山 秀樹
委員	会則第3条1項②号	佐賀県	佐賀大学医学部附属病院	小児科	診療講師	西 眞範
委員	会則第3条1項②号	長崎県	長崎大学病院	小児科	助教	船越 康智
委員	会則第3条1項②号	長崎県	長崎大学病院	腫瘍外科(第一外科)	助教	山根 裕介
委員	会則第3条1項②号	大分県	大分大学医学部附属病院	小児科	助教	後藤 祥徳
委員	会則第3条1項②号	熊本県	熊本大学病院	小児科	助教	阿南 正
委員	会則第3条1項②号	熊本県	熊本大学病院	小児外科	助教	本田 正樹
委員	会則第3条1項②号	宮崎県	宮崎大学医学部附属病院	小児科	教授	盛武 浩
委員	会則第3条1項②号	鹿児島県	鹿児島大学病院	小児科	教授	岡本 康裕
委員	会則第3条1項②号	鹿児島県	鹿児島大学病院	小児外科	教授	家人 里志
委員	会則第3条1項②号	沖縄県	琉球大学病院	第一外科	教授	高柳 光寿
委員	会則第3条1項②号	沖縄県	琉球大学病院	小児科	講師	浜田 聡
委員	会則第3条1項②号	福岡県	産業医科大学病院	小児科	講師	本田 裕子
委員	会則第3条1項②号	福岡県	福岡大学病院	小児科	助手	熊谷 拓哉
委員	会則第3条1項②号	福岡県	久留米大学病院	小児科	准教授	大園 秀一
委員	会則第3条1項②号	福岡県	久留米大学病院	小児外科	教授	加治 建
委員	会則第3条1項②号	福岡県	北九州市立八幡病院	小児血液・腫瘍内科	主任部長	安井 昌博
委員	会則第3条1項②号	熊本県	熊本医療センター	小児科	医師	右田 昌宏
委員	会則第3条1項②号	沖縄県	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	小児科(血液腫瘍内科)	部長	比嘉 猛
委員	会則第3条1項②号	沖縄県	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	小児外科	副部長	楊川 幸弘
委員	会則第3条1項④号	福岡県	福岡県	保健医療介護部がん感染症疾病対策課	課長	赤田口 徹
委員	会則第3条1項④号	佐賀県	佐賀県	健康福祉部健康推進課がん推進特別対策室	室長	岡崎 由佳
委員	会則第3条1項④号	長崎県	長崎県	福祉保健部医療政策課	課長	猪股 慎太郎
委員	会則第3条1項④号	大分県	大分県	福祉保健部 健康推進室	室長	羽田野 康仁
委員	会則第3条1項④号	熊本県	熊本県	健康福祉部健康づくり推進課	課長	小夏 香
委員	会則第3条1項④号	宮崎県	宮崎県	健康推進課	課長	児玉 珠美
委員	会則第3条1項④号	鹿児島県	鹿児島県	くらし保健福祉部健康推進課	課長	黒崎 光生
委員	会則第3条1項④号	沖縄県	沖縄県	保健医療部健康長寿課	課長	伊野波 和子
委員	会則第3条1項④号	福岡県	九州大学病院	小児科	助教	大場 詩子
委員	会則第3条1項④号	福岡県	九州大学病院	小児外科	助教	川久保 尚徳
オブザーバー	-	広島県	広島大学病院	小児科	診療講師	唐川 修平

第21回九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会 議事概要

日 時： 令和6年8月26日（月）16：00～16：40

開催方法：Webexを使用したWeb会議

出席者：31名（別紙のとおり）

I. 開会挨拶

田尻副委員長より会議に先立ち開会の挨拶があった。

II. 議事（司会：田尻副委員長）

1. 九州・沖縄地域小児がん医療提供体制について

資料1-1, 1-2, 1-3に基づき、委員名簿、九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会則、九州・沖縄地域小児がん医療提供体制図の確認を行った。

2. 前回議事録の確認

資料2に基づき、前回議事録の確認を行った。

【報告事項】

3. 小児がん連絡協議会について

(1) 第19回小児がん拠点病院連絡協議会報告

川久保委員より、資料3-1に基づき第19回小児がん拠点病院連絡協議会については3月6日に送信された報告メールをご確認いただくよう発言があった。

(2) 第20回小児がん拠点病院連絡協議会報告

川久保委員より、資料3-2に基づき、以下の報告があった。

- がん情報サービス 小児がんコンテンツ更新の進捗状況（中央機関報告）
小児の地域のがん情報や教育情報について全国調査を行い、拡充・更新を行っている。
- 小児がん集約化の現状と小児がん連携病院について（中央機関報告）
連携病院・構造指標の課題として、類型1の層別化には、新規症例のみならず、地域性を考慮した基準や構造指標などを加味した指定要件を作る必要性があり、将来的には1-Aを準拠点病院という位置づけとして診療報酬をつける形を検討していくことが提案された。
- 緩和ケアの診療加算について（緩和ケア部会）
診療報酬改定にて小児緩和ケア診療加算が新設されたが、加算要件も多く、実用性についてのアンケートから加算を取ることに状況的に難しいことが見えてきた。今後、厚労科研 研究班での実態把握と基準作り、成育医療研究開発費でデータベース構築を進めていき、次の診療報酬改定である程度加算が取りやすい状況が作れるよう準備を進めていく。
また、グリーフケアについて将来的に診療報酬化できよう研究を進めてほしいとの意見が挙げられた。
- 次回の小児がん拠点病院連絡協議会は令和7年1月29日に開催される。

(3) 第20回小児がん拠点病院連絡協議会相談支援部会報告

花田相談員より、資料3-3に基づき以下の報告があった。

- 造血幹細胞移植医療と関連する経済的支援について、相談員の知識として知っておくべき支援について報告が行われた。
- 相談支援部門の活動報告として、事前アンケートの報告、患者・家族の交流の場づくりに関する取り組み、小児がん連携病院等との連携体制整備に関する取り組みについて報告が行われた。
- 次回の小児がん拠点病院連絡協議会 相談支援部会は令和6年11月29日に開催される。

4. 小児がん拠点病院について

大場委員より令和5年度の活動報告が行われた。

- 九州・沖縄ブロック小児がん拠点病院テレビ会議
資料4-1に基づき令和5年度の開催報告、ならびに令和6年度の開催予定について報告が行われた。
- 九州・沖縄ブロック看護ネットワーク会議
資料4-2に基づき令和5年度の小児がん看護ネットワーク会議の開催報告が行われた。
- 九州大学病院 小児緩和ケアチーム活動報告
資料4-3に基づき令和5年度の緩和ケアラウンド実績と小児緩和ケアチーム勉強会の開催について報告が行われた。

5. その他

(1) 令和6年度第1回松本班会議報告

川久保委員より資料5に基づき、以下の報告があった。

- 2023年度の算定結果について
「緩和ケア講習受講率」が拠点病院間でもバラつきがあるため、改善が必要ながことが指摘された。
- 2024年度の算定項目について
傾向がわかったため削除される指標や、新たに修正・検討していく指標について報告が行われた。
- 令和6年度 小児がん拠点・連携病院QIのスケジュール
令和6年度のスケジュールについて報告が行われた。

【協議事項】

6. 小児がん連携病院の指定について

(1) 小児がん連携病院指定要件について

大賀副委員長より資料6に基づき、以下の説明がされた。
令和4年8月1日に発出された「小児がん拠点病院等の整備に関する指針」類型1-Aの指定要件に基づき、九州・沖縄ブロックでは直近3年間のうち1年でも症例の数が20症例を満たす施設を「1-A」として指定することを決定し、令和5年9月1日付で指定を行った。
類型1-A、1-Bの指定期間について、「令和5年9月1日付で指定した類型を次回更新まで継続、変更を希望する施設については都度協議」とする案を提案された。
提案に対し、盛武委員より今後について新たな情報が入り次第協議会にて情報共有していただきたい旨、要望として挙げられた。また、類型1-B施設について、指定要件を満たした場合1-Aへの

変更を認めるのか確認があった。事務局より承認については、中央機関ではなく、各ブロックでの承認となるため、希望する施設は現況報告の際に申請していただいた上で協議することになる旨発言があった。

その他異議はなく、類型の指定期間について「令和5年9月1日付で指定した類型を次回更新まで継続、変更を希望する施設については都度協議」とする案で行うことについて、承認された。

【行政からの報告】

(1) 佐賀県

長本氏より資料7に基づき、小児がん患者などの家族の交通費助成についての案内と、助成に当たり主治医からの意見書が必要となるため協力をお願いしたい旨発言があった。

以上、すべての議事が終了し、田尻副委員長より閉会の挨拶があった。

第21回九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会 出席者

(別紙)

出席者：31名
(敬称略)

大賀副委員長、大場委員	九州大学病院 小児科	出席者
田尻副委員長、川久保委員	九州大学病院 小児外科	
中山委員	九州がんセンター 小児思春期腫瘍科	
熊谷委員	福岡大学病院 小児科	
大園委員	久留米大学病院 小児科	
橋詰医師	久留米大学病院 小児外科 (加治委員代理)	
本田委員	産業医科大学病院 小児科	
興相医師	北九州市立八幡病院 小児血液・腫瘍内科 (安井委員代理)	
西委員	佐賀大学医学部附属病院 小児科	
船越委員	長崎大学病院 小児科	
後藤委員	大分大学医学部附属病院 小児科	
阿南医師	熊本大学病院 小児科	
興相医師	熊本医療センター (右田委員代理)	
盛武委員	宮崎大学医学部附属病院 小児科	
西川医師	鹿児島大学病院 小児科 (岡本委員代理)	
浜田委員	琉球大学病院 小児科	
久田医師	琉球大学病院 第一外科 (高槻委員代理)	
屋宜医師	沖縄県南部医療センター・子ども医療センター 小児科 (比嘉委員代理)	
川原、齊田	福岡県 保健医療介護部がん感染症疾病対策課 (牟田口委員代理)	
岡崎委員	佐賀県 健康福祉部健康増進課がん撲滅特別対策室	
安藤、内野	長崎県 福祉保健部医療政策課 (加藤委員代理)	
長峯	大分県 福祉保健部健康づくり支援課 (阿部委員代理)	
高村	熊本県 健康福祉部健康増進課がん健康づくり推進課 (小夏委員代理)	
黒木、内田	宮崎県 福祉保健部健康増進課 (児玉委員代理)	
古賀	鹿児島県 福祉保健部健康増進課 (黒崎委員代理)	
外間	沖縄県 保健医療部健康長寿課	
列席者：8名		
古賀医師	九州がんセンター 小児科	
濱口医師	熊本大学病院 小児科	
稲垣医師、松石医師	北九州市立八幡病院	
花田相談員	九州大学病院 小児がん相談支援センター	
山田課長補佐、古賀係員	九州大学病院 医療管理課	
山口	九州大学病院 小児がん拠点病院事務局	
欠席者：7名		
中村委員長、小田委員、馬場委員 (九州大学病院)、山根委員 (長崎大学病院)		
本田委員 (熊本大学病院)、家入委員 (鹿児島大学病院) 橋川委員 (沖縄県立南部医療センター・子ども医療センター)		

小児がん連携病院充足状況について

2021年10月、2022年10月提出の現況報告、2019年情報公開資料を用いて選定

(※2019年はコロナ禍により現況報告書の提出がなかったため)

症例数は診療実績数より抽出し、2019年、2020年、2021年いずれかで症例数が20例以上の施設を1-Aとする

現況報告書と情報公開による診療実績数 (造：造血器腫瘍、固：固形腫瘍)

No.	病院名	現況報告		情報公開	類型	参考 2022現況報告
		2021	2020	2019		
1	九州がんセンター	20	39	11 (造9 固2)	1-A	23
2	福岡大学病院	6	11	14 (造3 固11)	1-B	5
3	久留米医科大学病院	31	37	26 (造13 固13)	1-A	31
4	産業医科大学病院	15	13	27 (造16 固11)	1-A	17
5	北九州市立八幡病院	7	4	14 (造11 固3)	1-B	14
6	佐賀大学医学部付属病院	21	14	10 (造6 固4)	1-A	22
7	長崎大学病院	22	20	31 (造15 固16)	1-A	15
8	大分大学医学部附属病院	18	22	18 (造12 固6)	1-A	25
9	熊本大学病院	31	30	28 (造10 固18)	1-A	21
10	熊本医療センター	5			1-B	3
11	宮崎大学医学部附属病院	21	17	21 (造10 固11)	1-A	22
12	鹿児島大学病院	34	36	42 (造23 固19)	1-A	40
13	琉球大学病院	32	18	19 (造9 固10)	1-A	17
14	南部医療センター・こども医療センター	28	18	24 (造19 固5)	1-A	30

【定義】①小児がん診断時年齢が18歳以下の初回治療例（セカオピ除く）

②造血器・固形腫瘍に加え「その他」の項目あり

③院内がん登録（小児がん）の「院内がん症例区分20.21.30.31及び4 0のうち治療対象となったもの」を想定

【情報公開の定義】①初診診断時年齢18歳以下

②除外症例あり（診断のみ症例・治療終了後のフォローアップ目的で紹介された症例）

九州・沖縄各県における小児がん拠点病院・連携病院の配置

県	拠点病院	連携病院	
		1-A	1-B
福岡県	九州大学病院	九州がんセンター	福岡大学病院
		久留米医科大学病院	北九州市立八幡病院
		産業医科大学病院	
佐賀県		佐賀大学医学部付属病院	
長崎県		長崎大学病院	
大分県		大分大学医学部附属病院	
熊本県		熊本大学病院	熊本医療センター
宮崎県		宮崎大学医学部附属病院	
鹿児島県		鹿児島大学病院	
沖縄県		琉球大学病院	
		南部医療センター・こども医療センター	

各県に拠点あるいは1-Aの施設が配置

- ・がん診療連携拠点病院の都道府県協議会への積極的参画
- ・がんゲノム医療連携病院として検体提出可能

九州・沖縄地域における地域格差の解消

第20回 小児がん拠点病院連絡協議会 議事次第

日時：令和6年7月9日（火）14：00～17：00

場所：オンライン開催

1. 開会挨拶
国立がん研究センター 理事長 中釜 齊
国立成育医療研究センター 理事長 五十嵐 隆
2. 厚生労働省挨拶
厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課
課長補佐 向 亜紀

報告事項

- (1) 小児がん中央機関からの報告①
小児がん中央機関からの報告②
小児がんゲノム医療の現状と課題
- (2) 相談支援部会からの報告
- (3) 看護部会からの報告
- (4) 病理診断支援についての報告
- (5) 緩和ケア部会からの報告
- (6) 各ブロックからの報告
 - 各ブロック
 - 今年度の事業計画

討議事項

- (1) 事前アンケート結果について
- (2) 総合討論
- (3) その他

第20回 小児がん拠点病院連絡協議会 参加者名簿

(2024年7月9日(火)14:00~17:00)

氏名	施設名	所属	職名	協議会委員
岡村 亨	北海道大学病院	小児科	教授	〇
岡村 ヤスコ	北海道大学病院	看護部長	看護部長	〇
岩崎 幸子	北海道大学病院	看護部看護管理室	看護部長	
平林 真介	小児科	小児科	助教	
神原 洋二	東北大学病院	看護部	看護部長	〇
若木 唯紀	東北大学病院	看護部	看護部長	
井上 彩	東北大学病院	看護部	看護部長	
山口 隆毅	九州大学病院	地域医療連携課	地域医療連携係	
佐藤 龍子	東北大学病院	看護部	看護部長	
新藤 秀明	東北大学病院	看護部	看護部長	
森沼 美香	東北大学病院	看護部	看護部長	
朝田 謙一郎	東北大学病院	診療技術部ソーシャルワーク部門	診療技術部ソーシャルワーカー長	
山岸 敬孝	東京都立小児総合医療センター	院長	院長	〇
堀田 律子	東京都立小児総合医療センター	看護部	看護部長	
田中 秀弥	東京都立小児総合医療センター	看護部	看護部長	
西川 祐生	東京都立小児総合医療センター	看護部	看護部長	
藤井 航子	埼玉県立小児医療センター	看護部	看護部長	
高橋 花恵	埼玉県立小児医療センター	看護部	看護部長	
中田 尚志	神奈川県立こども医療センター	看護部	看護部長	〇
大森 裕和	神奈川県立こども医療センター	看護部	看護部長	
後藤 裕明	神奈川県立こども医療センター	看護部	看護部長	
樋口 美佳	神奈川県立こども医療センター	看護部	看護部長	
初岡 高亮	神奈川県立こども医療センター	看護部	看護部長	
高橋 義行	名古屋大学医学部附属病院	小児科	小児科	〇
江崎 美咲	名古屋大学医学部附属病院	医事課	医事課長	
藤井 亮子	名古屋大学医学部附属病院	看護部	看護部長	
平山 雅浩	三善大学医学部附属病院	小児科	小児科	〇
藤田 秀孝	三善大学医学部附属病院	看護部	看護部長	
福永 律子	三善大学医学部附属病院	看護部	看護部長	
渡邊 健一郎	静岡県立こども病院	血液腫瘍科	血液腫瘍科	〇
加藤 由香	静岡県立こども病院	がん相談支援センター	がん相談支援センター	
鈴木 千里	静岡県立こども病院	看護部	看護部長	
内藤 美樹	静岡県立こども病院	看護部	看護部長	
齋藤 翔子	京都府立医科大学附属病院	看護部	看護部長	
小野 遥	京都府立医科大学附属病院	看護部	看護部長	
相沢 和枝	京都府立医科大学附属病院	看護部	看護部長	
志摩 典生	京都府立医科大学附属病院	看護部	看護部長	
中井 友理子	京都府立医科大学附属病院	看護部	看護部長	
文野 誠久	京都府立医科大学附属病院	看護部	看護部長	
宮地 充	京都府立医科大学附属病院	看護部	看護部長	
畑田 順子	京都大学医学部附属病院	小児科	小児科	〇
加藤 裕	京都大学医学部附属病院	看護部	看護部長	
藤崎 弘之	大阪府立総合医療センター	小児血液・腫瘍内科	小児血液・腫瘍内科	〇
岡田 恵子	大阪府立総合医療センター	看護部	看護部長	
飯島 晋代	大阪市立総合医療センター	がん医療支援センター	がん医療支援センター	
鈴木 美千代	大阪市立総合医療センター	がん医療支援センター	がん医療支援センター	
中川 祥	大阪市立総合医療センター	看護部	看護部長	
原 純一	大阪市立総合医療センター	看護部	看護部長	
木多 由佳梨	大阪市立総合医療センター	看護部	看護部長	
小坂 薫之	兵庫県立こども病院	看護部	看護部長	〇
尾村 真希	兵庫県立こども病院	看護部	看護部長	
須村 淳史	兵庫県立こども病院	看護部	看護部長	
長谷川 大一郎	兵庫県立こども病院	看護部	看護部長	
松下 奈月	兵庫県立こども病院	看護部	看護部長	
吉田 敦子	兵庫県立こども病院	看護部	看護部長	
堀田 真	広島大学病院	看護部	看護部長	〇
堀田 修平	広島大学病院	看護部	看護部長	
川口 浩史	広島大学病院	小児科	小児科	

氏名	施設名	所属	職名	協議会委員
佐藤 陽子	広島大学病院	看護部管理室	看護部長	
田尻 蓮郎	小児外科	小児外科	教授	〇
大塚 清子	九州大学病院	医療管理課	医療管理係	
清松 丈彦	九州大学病院	医療管理課	医療管理係	
中島 輝太郎	九州大学病院	小児科	助教	
山口 隆毅	九州大学病院	医療管理課	事務	
山田 浩毅	九州大学病院	看護部	看護部長	
大野 慎介	一般社団法人全国がん患者団体連合会	アドバイザー	理事長	
井上 藤奈子	小児がん対策国際会議		共同代表	
小川 純子	日本小児がん看護学会		理事長	
山口 純子	NHK放送局取材センター-社会部		取材部長	
山下 公博	がんの子どもを守る会		理事長	
向 亜紀	厚生労働省	健康・生活衛生局	がん・疾病対策課	
千葉 博洋	厚生労働省	健康・生活衛生局	がん・疾病対策課	
橋本 侑介	厚生労働省	健康・生活衛生局	がん・疾病対策課	
中塚 香	国立がん研究センター	企画戦略局	理事長、総長	
鈴木 達也	国立がん研究センター	企画戦略局	次長	
平子 匠夫	国立がん研究センター	理事長特任補佐	理事長特任補佐	
松岡 豊	がん対策研究所	がん情報提供部	部長	
若尾 文彦	国立がん研究センター	がん対策情報センター本部	副部長	
五十嵐 隆	国立がん研究センター	理事長	理事長	
宮原 教生	国立がん研究センター	副部長	副部長	〇
井口 裕子	小児がんセンター	血液腫瘍科	血液腫瘍科	
小野 裕子	小児がんセンター	看護部	看護部長	
加藤 美穂	小児がんセンター	小児がんセンター	小児がんセンター	
加藤 元博	小児がんセンター	小児がんセンター	小児がんセンター	
北澤 潤	小児がんセンター	小児がんセンター	小児がんセンター	
溝口 信哉	小児がんセンター	小児がんセンター	小児がんセンター	
坂口 大俊	小児がんセンター	小児がんセンター	小児がんセンター	
嶋田 セツ子	小児がんセンター	小児がんセンター	小児がんセンター	
鈴木 彩	小児がんセンター	小児がんセンター	小児がんセンター	
出口 隆生	小児がんセンター	小児がんセンター	小児がんセンター	
齋本 悠也	小児がんセンター	小児がんセンター	小児がんセンター	
寺島 康太	小児がんセンター	小児がんセンター	小児がんセンター	
佐藤 大輔	小児がんセンター	小児がんセンター	小児がんセンター	
古澤谷 希希	小児がんセンター	小児がんセンター	小児がんセンター	
松本 公一	小児がんセンター	小児がんセンター	小児がんセンター	
丸山 京美	小児がんセンター	小児がんセンター	小児がんセンター	
宮岡 治	小児がんセンター	小児がんセンター	小児がんセンター	
齋岡 孝子	小児がんセンター	小児がんセンター	小児がんセンター	
糸田 暢之	小児がんセンター	小児がんセンター	小児がんセンター	
永田 光宏	小児がんセンター	小児がんセンター	小児がんセンター	

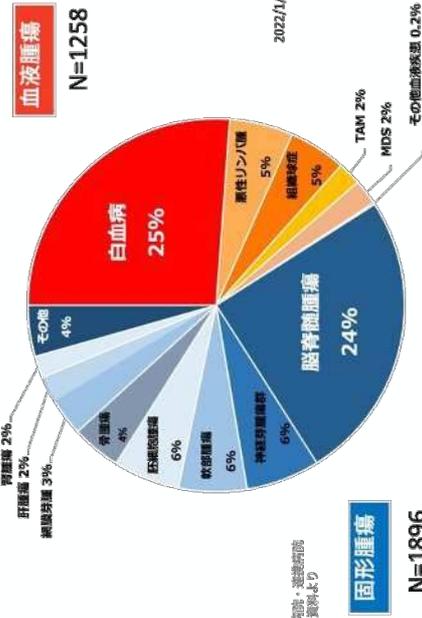
小児がん集約化の現状と小児がん連携病院

ブロック別小児がん拠点病院・連携病院数

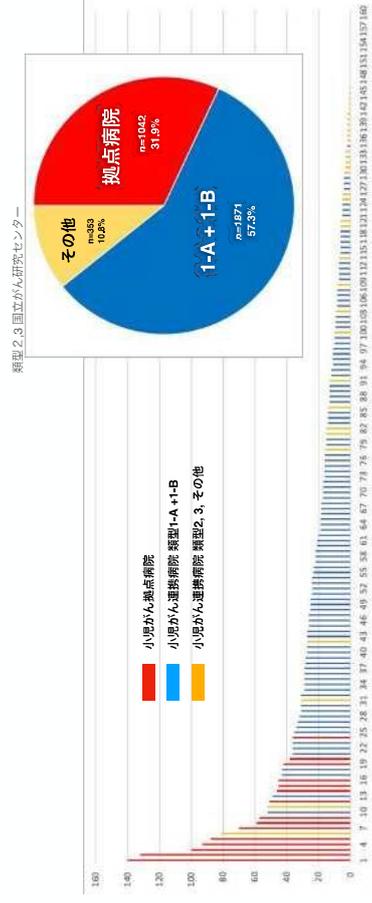
	拠点・中央	連携			他	合計	
		類型1-A	類型1-B	類型2			
北海道	1	15	3	1	10	16	
東北	1	8	1	5	2	9	
関東・甲信越	5	42	17	15	8	47	
東海・北陸	3	17	8	7	1	20	
近畿	4	32	9	7	3	37	
中国・四国	1	15	4	10	1	16	
九州・沖縄	1	14	11	3	0	15	
合計	16	143	53	48	14	28	160

2023.9.1 現在

2022年初発症例

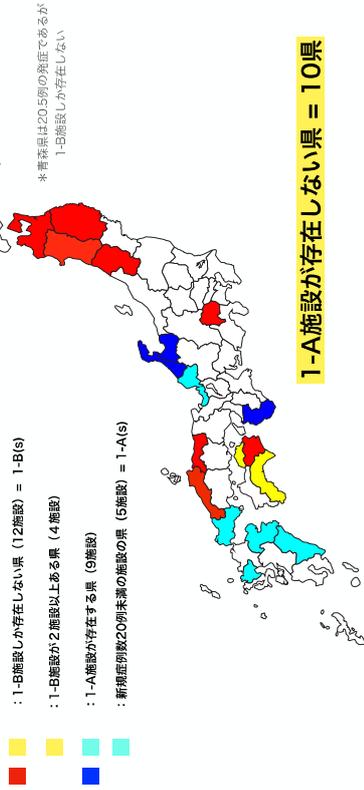


小児がん新入院患者数 (情報公開2021より)

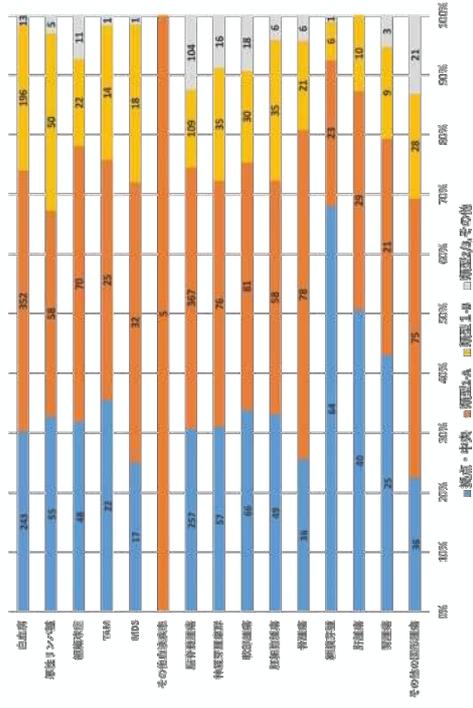


県内発症新規小児がん患者数が20例未満の県（17県）

全国がん登録（2016-2019年）における 0-15歳患者数の平均から算出

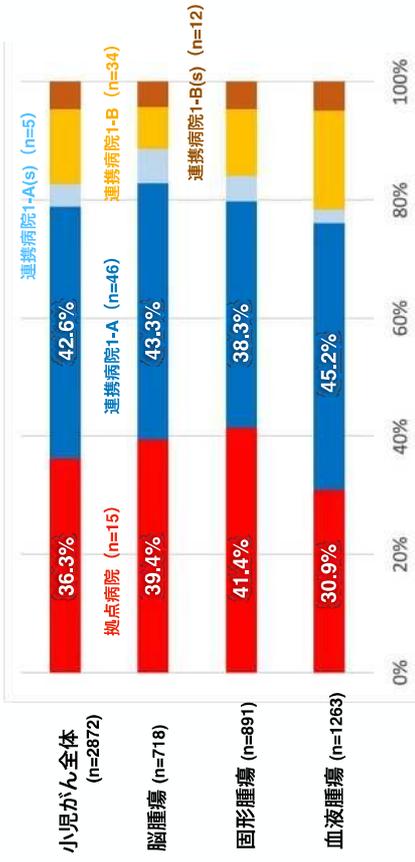


2022年初発 施設区分別症例集計



小児がん新入院患者数 集約化の現状

2024年権記公開資料より作成（拠点病院・施設1のみ）



小児がん専門医数(2021)



種類1-Bであっても、小児がん専門医数の多い施設がある。小児がん診療数のみでは、適正に層別化できているとは言えない。

種類1-B(s)は、小児がん専門医数に關して全体とほぼ同一の分布となっている。同時に、種類1-B(s)でも小児がん専門医数の多い施設がある。

小児がん専門医 1人あたりの新入院患者数 (2021)

	n	MEAN	SE
拠点	15	14.7	± 2.1
1-A	46	15.7	± 1.3
1-AS	5	15.2	± 2.5
1-B	28	8.3	± 1.1
1-Bs	11	7.5	± 1.2

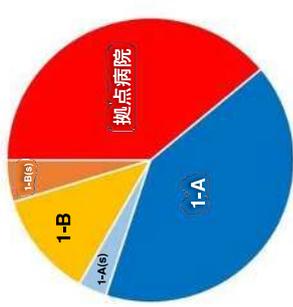
1-Aと1-Bで有意差を認めた

	n	MEAN	SE
拠点	15	14.7	± 2.1
北海道	3	14.3	± 8.4
東北	5	6.9	± 1.4
関東甲信越	29	10.9	± 1.5
東海北陸	11	15.0	± 2.4
近畿	15	15.6	± 2.1
中四国	13	10.2	± 2.0
九州沖縄	12	13.0	± 2.1

小児がん死亡数割合は、病院群間で大きくは変わらない

死亡数割合=その年の死亡患者数 / その年の新規患者数 として計算し、各病院群全体の死亡数割合をみた

小児がん新患者数の分布(2021)



小児がん死亡数割合の経年変化

	2019	2020	2021	平均
拠点	8.9	11.2	11.3	10.5
1-A	7.8	6.6	6.7	7.0
1-A(S)	10.0	9.4	3.5	7.6
1-B	10.0	5.4	6.2	7.2
1-B(S)	7.9	10.9	9.4	9.4

新患者数の少ない施設群では、少数の変動でも大きく影響しているか

療養支援担当者数(2021)



類型1-Aの半数の施設で、療養支援担当者は存在しない。類型1-Bの3/4の施設で、療養支援担当者は存在しない。類型1-A(s)、類型1-B(s)では、さらに少なくなる。

小児がん連携病院・構造指標の課題

- 類型1の施設について、新規症例数20例を基準に、1-A施設、1-B施設として層別化した。
- プロックによって選定基準が異なる結果となったが、1-B施設でも小児がん専門医、小児がん認定外科医が十分確保されている施設が認められた。
- しかしながら、1-B施設では、療養支援担当者が配備されていない施設が多く、課題があると考えられた。
- 重症度を測る指標として新規入院患者数あたりの死亡患者数割合を検討したが、連携病院1-A、1-B共に、大きな変わりはなく、どこの病院でも一定数の重症患者を診療していると考えられた。
- 類型1の層別化には、新規症例数のみならず、地域性を考慮した基準や、構造指標などを加味した指定要件を考案する必要があると考えられた。

令和5(2023)年度の報告と令和6(2024)年度の事業計画

九州・沖縄ブロック

九州大学病院



九州・沖縄地域 小児がん医療提供体制協議会

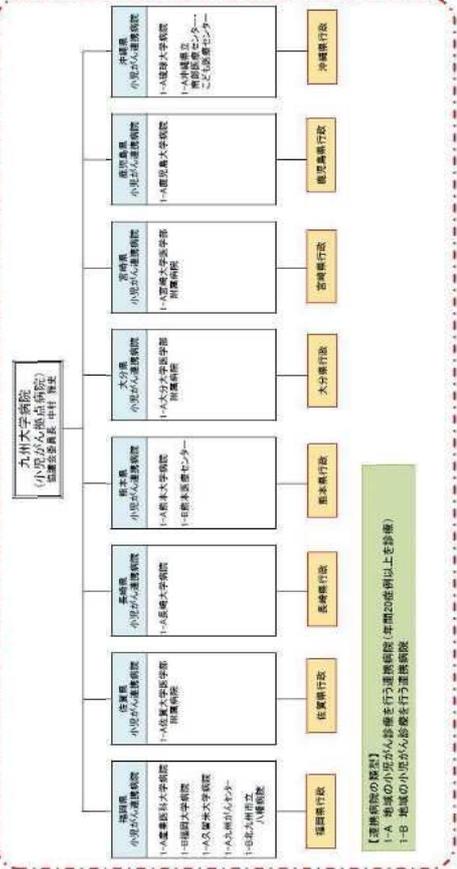
①令和5(2023)年度事業報告

- 1-1.九州・沖縄ブロックの事業報告
- 1-2.九州大学病院の取り組み

②令和6(2024)年度事業計画

九州・沖縄地域小児がん医療提供体制

九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会



九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会 (WEB会議)

第19回会議要旨

開催日：令和5年7月24日

参加施設：医療機関17施設、行政機関8施設

【報告事項】

- 1) 小児がん拠点病院連絡協議会
- 2) 小児がん拠点病院連絡協議会・相談支援部会

【協議事項】

- 1) 小児がん連携病院再指定について
診療実績数力ワント基準について協議し、小児がん連携病院施設と類型について承認された。

第20回会議要旨

開催日：令和6年1月5日

参加施設：医療機関15施設、行政機関8施設

【報告事項】

- 1) 小児がん拠点病院活動報告
- 2) 令和5年度松本班連携病院Q1について
- 3) 市民公開講座の案内

【各県より報告】

- ・九州・沖縄地域各県の妊孕性温存、高校生の学習支援、在宅療養生活支援、在宅療養生活支援、就労支援、親・家族への支援、アヒアランスケア、ワクチン再接種費用助成
についての取り組みを報告、情報共有を行った。

九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会 第8回 相談支援部会 (WEB会議)

会議要旨

開催日：令和5年11月17日
参加施設：医療機関14施設

【報告事項】

1. 第18回小児がん拠点病院連絡協議会相談支援部会
 - ① 第4期がん対策推進基本計画について
 - ② 病気療養中等の児童生徒に対するオンデマンド型の授業配信を可能とする制度改正について
 - ③ 小児がん連携病院（類型1）の層別化について

九州沖縄地域小児がん医療提供体制協議会 研修会・勉強会報告②

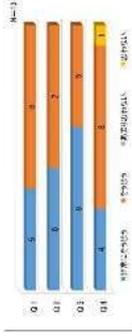
小児がん拠点病院ネットワーク事業

九州・沖縄ブロック小児がん看護ネットワーク会議

- ・開催日時：年3回 第4月曜日17時15分～18時15分
- ・参加施設：九州・沖縄ブロック小児がん拠点病院・連携病院15施設
中国・四国ブロック1施設（広島大学）
- ・参加施設間で情報交換、共有を行い連携を深め、看護実践の均てん化をはかっている

看護ネットワーク会議終了後のアンケート結果（一部抜粋）

- 01 第1回のテーマは参考になった Q2 第2回のテーマは参考になった
- 03 第3回のテーマは参考になった
- 04 小児がん看護ネットワーク会議では十分な情報交換ができた



- ◎第1回
令和5年7月24日（月）17：15～18：15
テーマ：「事例検討」
- ◎第2回
令和5年11月28日（月）17：15～18：15
テーマ：「新人教育・看護師のメンタルヘルスケア」
- ◎第3回
令和6年2月26日（月）17：15～18：15
テーマ：「緩和ケア・小児がんのACP」

会議終了後のアンケートでは、ほとんどの施設がネットワーク会議により、十分な情報交換ができたと回答した。

中国・四国ブロックネットワーク会議

隣接するブロックとの連携を図るため、中国・四国ブロックの会議にも参加しており、医師・看護師・小児がん相談員が広域で連携し検討、情報交換を行っている。

九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会 第8回 相談支援部会 (WEB会議)

会議要旨

開催日：令和5年11月17日
参加施設：医療機関14施設

【報告事項】

1. 第18回小児がん拠点病院連絡協議会相談支援部会
 - ① 第4期がん対策推進基本計画について
 - ② 病気療養中等の児童生徒に対するオンデマンド型の授業配信を可能とする制度改正について
 - ③ 小児がん連携病院（類型1）の層別化について

九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会 研修会・勉強会報告①

小児がん拠点病院ネットワーク事業 小児がん拠点病院テレビ会議（第94～104回）

- ・開催日時：毎月第4月曜日16時～17時
 - ・参加施設：九州・沖縄ブロック小児がん拠点病院・連携病院15施設
中国・四国ブロック4施設
（広島大学、山口大学、愛媛大学、愛媛県立中央病院）
 - ・毎月当番施設を中心に症例提示と討論会を実施
- 令和5年度はゲノム医療と生殖医療（妊孕性温存）に関するWebセミナーを開催



九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会 研修会・勉強会報告③

小児がん医療従事者研修事業 特別講演

- 開催日時：令和5年11月24日（金）18:00～19:00
- 開催方法：ハイブリッド開催
- 演題：「コロナ禍が子どもたちにもたらしたもので、私たちが大人に託した課題」
- 講師：武藤 香織 先生
東京大学医学部附属病棟
ヒトゲノム解析センター
公共政策研究分野 教授
- 申込者：123名 参加者：86名



小児がん医療従事者研修事業 小児がん看護研修会

- 開催日時：令和5年10月28日（土）9:30～12:30
- 開催方法：オンライン開催
- 演題：小児がんの最新情報
小児の看護倫理
- 申込者：66名 参加者：56名



小児がん相談支援事業 特別講演

- 開催日時：令和5年9月8日（金）17:00～19:30
- 開催方法：オンライン開催
期間限定アーカイブ配信
- テーマ：長崎県農中の
こどもたちの教育と支援
～ICTを活用した教育の
現状と展望～
- 申込者：487名、参加者：186名
アーカイブ再生回数：517回
（配信期間 9/11～25）



九州・沖縄小児がん医療提供体制協議会 市民公開講座

- 開催日時：令和6年1月6日（土）17:30～18:45
- 共催：がんの子どもを守る会九州北支部
- 開催方法：オンライン配信
- テーマ：「おうちで防りたい」を支える子どもと家族の在宅医療
- 参加者：96名



小児がん相談支援センター活動報告②

【高校生への学習支援】

令和5年度は例年以上に高校生の入院が多く、長期療養中の高校生が治療中も教育を受けられるよう学校等と連携を図りながら介入を行った。

学校連絡会の開催

学校と病院をWEB会議システム等でつなぎ、入院中の患者さんについてきめ細やかな情報共有が行えるよう、サポートを行っている。

遠隔授業のサポート

高校と学校連絡会を開催して情報共有し、相談員が担任の教員と連携を図り、課題の受渡しや必要な教材（Wi-Fiルーター、テレプレゼンスロボットkubi）の貸出を行いサポートすることで、学校と病室をつないだWeb授業を実現している。



テレプレゼンスロボットkubiを活用して院内にて定期学査を実施

学習サポーターによる学習支援

九州大学の学生による、学習サポーターを導入。高校生や中学生を対象に学習指導を行っている。令和5年度は8名の学習サポーターが週2～3日、交替でサポートを行った。

令和5年度のサポート人数：延べ157人

AYA世代のための学習スペース Study Place -AYA-

高校生以上の患者さんが学習に使用できるスペースを設置し、高校の遠隔授業や週2～3回の学習サポート、自主学習等で利用している。

小児がん相談支援センター活動報告③

【九州大学病院のAYA世代がん患者さんへの支援】

小児・AYA世代がん患者向け患者会「KAPilina」

AYAWeek2024の一環として当院がんセンターと連携し、AYA世代のがん患者・サバイバーを対象とした患者会を開催した。



AYA Week2024

AYA世代応援フラッグ

応援フラッグを院内に掲示し、AYA世代がん患者さんへエールを送った。



小児・AYA世代がんフォローアップ外来

事前の問診票の結果に基づき、晩期合併症や生活状況、就学・就労の状況、病識等について相談員が面談を行っている。必要に応じて他科への紹介や情報提供等を行い、多診療科、多職種で長期にわたるサポートができる体制をとっている。

令和5年度 健康調査票送付数 243名

患者の発育および教育に係る環境整備 付添い家族への支援

乳幼児への保育支援

保育士、フレイルーム専属スタッフによる、マンツーマンの保育を実施している。



ファミリーハウス宿泊補助

18歳以下の子どものご家族が病院に隣接する「葛葉回森の家」や「ファミリーハウス」を利用される際に、1泊につき1,000円で宿泊できるよう、宿泊費の補助をしている。

令和5年度の補助件数：738件

院内学級（小学部、中学部）

千代小・中学校 病弱特別支援学級（院内）を設け、退院の前にはWEB会議システムを利用して学校連絡会を開催し、原籍校への復学支援を行っている。また、原籍校の卒業式や各種イベントにもオンラインで参加している。

クリスマスイルミネーション

クリスマスには、病棟内の中庭「どうぶつらんど」にイルミネーションの装飾を行った。

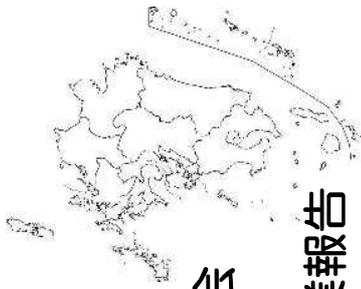


九州・沖縄地域 小児がん医療提供体制協議会

①令和5（2023）年度事業報告

- 1-1. 九州・沖縄ブロックの事業報告
- 1-2. 九州大学病院の取り組み

②令和6（2024）年度事業計画



令和6(2024)年度事業計画

- ◎第21・22回 九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会
- ◎第9回 九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会 相談支援部会
- ◎九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会研修会・勉強会

・九州・沖縄ブロック小児がん拠点病院テレビ会議（年10回）

小児がん診療に関するWebセミナーを2回開催

・九州・沖縄ブロック小児がん看護ネットワーク会議（年3回）

・九州・沖縄ブロック小児がん看護研修会

・九州・沖縄ブロック小児がん相談員継続研修（第3回）

・小児緩和ケアチーム勉強会（年5回）

・小児緩和ケアチーム勉強会 特別講演

・小児がんのこどもの教育を考える講演会（第7回）

・九州・山口小児血液・免疫・腫瘍研究会

・九州地区小児固形悪性腫瘍研究会

・がんの子どもを守る会との共催による市民公開講座

・小児・AYA世代がん患者向け患者会の開催

・研修会、講演会

※赤字は新規事業

名称	受講者数	対象者	開催予定数	実施予定日	開催形式	分類
九州・沖縄ブロック小児がん拠点病院テレビ会議(第105回～) (症例提示・討論会・研修カンファレンス)	30人/1回	医師、看護師及びメデイカルスタッフ	10	毎月第4月曜日 16:00～	Web	小児がん医療従事者研修事業
九州・沖縄ブロック小児がん看護ネットワーク会議	30人/1回	看護師	3	第4月曜日 17:15～	Web	小児がん医療従事者研修事業
九州・沖縄ブロック小児がん看護研修会	50人/1回	看護師	1	令和6年10月12日(土) 開催済	Web	小児がん医療従事者研修事業
九州・沖縄ブロック小児がん相談員継続研修(第3回)	50人/1回	小児がん拠点病院、連携病院内の小児がん相談員 (看護師、社会福祉士、CLSなど)	1	令和6年11月22日(金)	Web	小児がん相談支援事業
小児緩和ケアチーム勉強会(院内講師・第57回～)	30人/1回	医師、看護師及びメデイカルスタッフ、院内学級教諭、保育士	5	奇数月第4金曜	対面	小児がん医療従事者研修事業
小児緩和ケアチーム勉強会特別講演(院外講師)	100人/1回	医師、看護師及びメデイカルスタッフ、院内学級教諭、保育士	1	令和6年11月22日(金)	Web	小児がん医療従事者研修事業
小児がんのこどもの教育を考える講演会(第7回)	150人/1回	医師、看護師及びメデイカルスタッフ、院内学級教諭、院外教諭、相談員(社会福祉士、CLSなど)、患者さんとそのご家族、患者会・ボランティア団体	1	令和6年9月6日(土) 開催済	Web	小児がん相談支援事業
九州・山口小児血液・免疫・腫瘍研究会 九州地区小児固形悪性腫瘍研究会	100人/1回	医師、看護師及びメデイカルスタッフ	1	令和7年1月11日(土)	状況に応じて	小児がん医療従事者研修事業
がんの子どもを守る会と共催の市民公開講座	100人/1回	一般市民	1	令和7年1月11日(土)	状況に応じて	小児がん相談支援事業
小児がん診療に関するエキスパート広域セミナー	50人/1回	医師	2	令和6年10月28日(月) 令和6年12月23日(月)	Web	小児がん医療従事者研修事業
小児・AYA世代がん長期フォローアップに関する研修会(L-CAS)	50人/1回	医師	1	令和6年10月26日(土)	Web	小児がん医療従事者研修事業

・地区ブロック協議会

名称	開催数	実施予定日	開催形式	分類
第21、22回九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会	年2回	令和6年8月26日(月)開催済 令和7年2月18日(火)	Web	小児がん拠点病院ネットワーク事業
第9回九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会 相談支援部会	年1回	令和6年11月22日(金)	Web	小児がん拠点病院ネットワーク事業

・院内会議

会議名	開催数
小児がん拠点病院運営委員会	年1回開催
小児緩和ケア運用検討WG	年1回開催
小児緩和ケアチーム グリーフカードWG	年3回開催
小児・AYA世代がんフォローアップ外来WG	年1回開催

【その他継続事業】

- ・プレイルーム運営事業
- ・恵愛団森の家宿泊補助(18歳以下の患者さんのご家族)
- ・学習サポーター(九大大学院生・医学部生のアルバイト)

・患者会等

名称	参加者数	対象者	開催形式	分類
AYA会	25人	AYA世代のがん患者さん	現地開催	がん相談支援事業

九州大学病院 第7回小児がんのこどもの教育を考える講演会

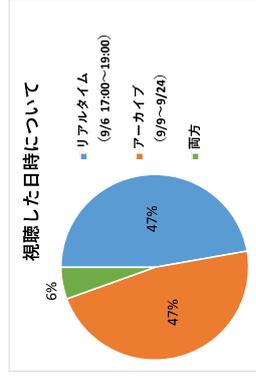
「病気を経験したこどもたちのところに寄り添う」

開催報告

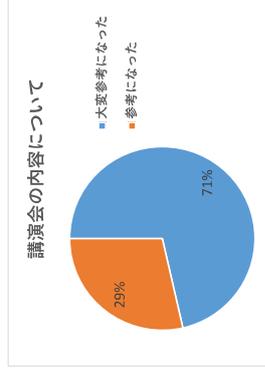
- 開催日時：令和5年9月6日（金）17：00～19：00
- 開催方法：Zoomによる限定ライブ配信（9/9月）～24（※）アーカイブ配信

- ・視聴申込者： 502名
- ・当日参加者： 155名
- ・アーカイブ再生回数： 556回
- ・視聴者アンケート回答者数： 161名

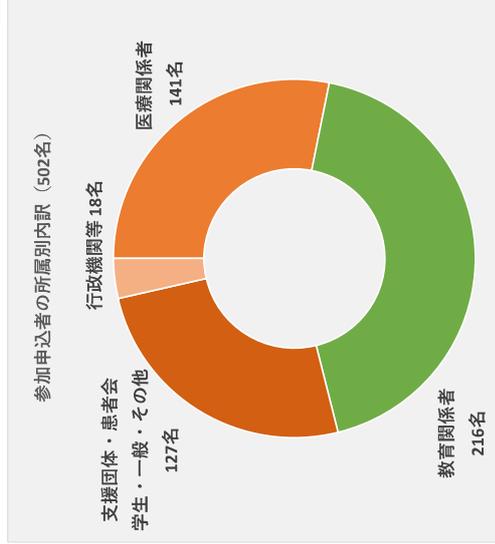
- 主催：九州大学病院
共催：親の会すまいる
がんの子とまをを守る会九州北支部
福岡県・福岡市難病相談支援センター
福岡県・福岡市
福岡県教育委員会 福岡市教育委員会
福岡大学病院アジア遠隔医療開発センター



アンケートではリアルタイムの視聴割合が高く、なっているが、実際はアーカイブの再生回数が多い。当日の参加者がアンケートに回答している割合が高いとめと考えられる。



私は病棟にあるので今目を向けてしまいがちですが、病気がなくなった子供達はこれからは向き合いかないといけないので、準備しても、精神的に学校に行けなくなったりしてしまふのだと知り。入院中から復学についてはありましたが学校と私たち医療者の情報共有的なところも主で、当人の気持ちの共有とかはあまりできてないのが現状なのでないかと思っています。これからは本人が学校に戻ることにどうやって考えていくのか、また長期入院した子が不登校になりやすいことなどを先方に伝えて、退院後も体面などを理解してくれる大人を作っておくことも私たちの仕事なのかなと思いました。ありがとうございました。（医療関係者）



【感想】

- ▶ 西竹先生や斎藤先生のように、ご自身が様々な体験をされている先生方が教育現場にもいらついでいいと思います。小児慢性疾患等自立支援員として他県で働いていた際、特別支援学校にも、特別支援コーディネーターにも、もちろん、普通学校にも一生涯子供たちの事を考えて下さる先生方がいらついでいいと思います。今日参加してくださった福岡県の教育委員会の先生の言葉も嬉しかったです。これからも、子供達の未来に向け、医療の現場と教育に携わる先生方との子供達に対する想いを共有できる場が頻りに多くあってもいいと思います。（患者家族・支援団体、学生、一般、その他）
- ▶ 学習支援が必要な児童生徒（小学校から高校まで）に対し、原籍校と特別支援学校のコーディネーター的役割によって関わることでだけでなく行政や民間団体も協力して地域ぐるみで支援している取り組みを紹介して下さいるとも勉強になりました。ありがとうございました。（教育関係者）
- ▶ 小児科看護師2年目になりました。この度は貴重なお話しありがとうございました。私は病棟にあるので今目を向けてしまいがちですが、病気がなくなった子供達はこれからは向き合いかないといけないので、準備しても、精神的に学校に行けなくなったりしてしまふのだと知り。入院中から復学についてはありましたが学校と私たち医療者の情報共有的なところも主で、当人の気持ちの共有とかはあまりできてないのが現状なのでないかと思っています。これからは本人が学校に戻ることにどうやって考えていくのか、また長期入院した子が不登校になりやすいことなどを先方に伝えて、退院後も体面などを理解してくれる大人を作っておくことも私たちの仕事なのかなと思いました。ありがとうございました。（医療関係者）

九州大学病院 第7回 小児がんのこどもの教育を考える講演会

病気を経験したこどもたちのところに寄り添う

令和6年 9月6日（金） 17:00～19:00

オンライン講演会、期間限定アーカイブ配信

対象者：小児がん医療従事者、教育関係者、一般市民

参加費 無料

17:05～ 時間15分

～小児がんのこと～
「小児がんのこどもたちの教育支援の現状と課題」
九州大学病院 小児科 大場 詩子

17:20～ 時間10分

～現状報告～
「学校からの支援に対する当事者の思い」
親の会すまいる 原田 恵美子さん

17:50～ 時間10分

～経験者の声～
小児がん経験者 西竹 要 先生

18:00～ 時間45分

～特別講演～
「病気を経験したこどもたちの心に寄り添い、切れ目のない教育を実現するために」
全国難病教育研究会 会長 斉藤 淑子 先生

18:45～ 時間15分

～質疑応答～
ディスカッション（進行）
九州大学病院 小児科 大場 詩子

申し込み方法

QRコードをスマホから読み取り、リンク先から申し込みください。

申し込みフォームへ必要事項をご記入の上、お申し込みください。

福岡県から九州大学病院小児がん拠点病棟のホームページ（下記URL）の専用ページからお申し込みください。

<https://childcenter.med.kyushu-u.ac.jp/>

問い合わせ先
九州大学病院小児がん拠点病棟事務局
〒812-8582 福岡県東区東区3-1-1
TEL:092-642-5093 FAX:092-642-5100
E-mail: childcenter@imu.kyushu-u.ac.jp

プログラム

- 開会の挨拶 17:00～17:05
- 小児がんのこと 17:05～17:20
- 現状報告 17:20～17:50
- 経験者の声 17:50～18:00
- 特別講演 18:00～18:45
- 質疑応答・ディスカッション 18:45～19:00
- 閉会の挨拶 19:00～

主催 | 九州大学病院 協力 | 九州大学病院アジア遠隔医療開発センター
共催 | 親の会すまいる、がんの子とまを守る会九州北支部、福岡県・福岡市難病相談支援センター
後援 | 福岡県、福岡市、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会



要申込
定員100名

令和6年度 九州・沖縄ブロック小児がん拠点TV会議

第1回Webセミナー

Webexを利用したオンライン開催

日時 2024年10月28日(月) 16:30～17:30

演題 「小児がんの薬剤開発：

ドラッグ・ラグ、ドラッグ・ロス解消に向けた取り組み」

演者 鈴木 麻也 先生

九州大学病院 ARO次世代医療センター 助教

座長 田尻 達郎 先生

九州大学病院 小児医療センター長

申し込みについて

右記QRコードより

2024年10月24日(木)までにお申し込みください。

後日、メールにて当日の接続先情報をお送りします。



主催 九州大学病院 (小児がん拠点病院)
問合せ窓口 九州大学病院 小児がん拠点事務局
TEL : 092-642-5093
mail : childcenter@jimu.kyushu-u.ac.jp

第60回
九州大学病院
小児緩和ケアチーム勉強会

特別講演

オンラインセミナー

病気のある子どもの「きょうだい」が見ている世界
— 子どもが「子ども」でいられるように —

令和6年 **11月22日** (金)
18:00～19:00

演者 **清田 悠代氏**
NPO法人しがたね 理事長

私たちが、目の前にいる病を持つ子どもや障害のある子どもに医療/ケアを尽くしているとき、そのきょうだいたちは、どんな想いで待ってくれているのでしょうか。責任、肩にきよまの重さが、そのまじまじで見られる場を提供している清田悠代さんにお話を伺います。きょうだいたちが成長し、大人になっていく、その時軸にも寄り添い、私たちに何ができるのか考える機会になれば幸いです。書ってください。

院内外より
多くの皆様のご参加を
お待ちしております。
参加費無料
(職種不問)

申込方法
スマートフォンから右記QRコードにアクセスし、申し込みフォームへ必要事項をご記入の上、お申し込みください。
パソコンから九州大学病院小児がん拠点病棟のホームページ(下記URL)よりお申し込みください。
<https://childcenter.med.kyushu-u.ac.jp/>

申込フォームURL
<https://forms.gle/YVskzppMJCm8BUS>

申込切: 11月18日(月)

主催: 九州大学病院 小児緩和ケアチーム 共催: 次世代の九州がんブロン養成プラン
問い合わせ先: 九州大学病院小児がん拠点事務局 TEL:092-642-5093 E-mail:childcenter@jimu.kyushu-u.ac.jp